

地方行政

◎昭和23年7月9日 第3種郵便物認可◎毎週2回月・木曜日発行(但し祝日を除く)◎購読料金 月額5,830円(税抜5,300円)
発行所 〒104-8178 東京都中央区銀座5丁目15番8号 時事通信社

市民が選択した「未来への新しい風」 と瀬戸内クロスポイント構想

追
標

とくなが しげき いまばり
徳永 繁樹 愛媛県今治市長



県議会議員から市長に就任して3カ月余りが経過しました。「市民が真ん中」という理念の下、「未来への新しい風」を起こすため、ウイズコロナへの対応とアフターコロナへの準備に毎日、忙殺されています。

今治市は、造船会社などの海事クラスターを形成する「日本最大の海事都市」であり、安心・安全・高品質な「今治タオル」に代表されるタオルのまちでもあります。一方、エーゲ海のような多島美の中にある「しまなみ海道」はサイクリストの聖地と謳われ、2019年、「ナショナルサイクルルート」に1次指定されました。

しかし、少子高齢化と人口減少は地域の活力を奪いつつあります。

そこで、今治経済の「新しい成長」ステージを切り拓き、持続可能な地域社会を実現するため、私は「瀬戸内クロスポイント構想」を提唱しています。瀬戸内海の物流、人流の結節点に当たる立地条件を生かし、地域活性化につなげるため、国の分析手法を活用、資金の流れを「見える化」し、政策の実効性を高めます。その戦略として「瀬戸内クロスポイント構想」がスタートしたばかりです。

まずは地域版総合商社をつくり、新しい特産物のトップセールスを展開するとともに地域新電力会社も視野に入れたエネルギーの地産地消にも挑戦します。農業ビジネスの起業に取り組むほか、何よりも子どもが、女性が輝き、住みた

い、住み続けたいというまちづくりに向け「今治版ネウボラ」を立ち上げる準備に追われています。

小説「村上海賊の娘」は、海の難所という逆境で活躍した人々の話です。今治は、これまでも数々の逆境に打ち勝ってきました。

「倭は国の真秀ろば」といわれます。今治も、愛媛県第2の都市魅力あふれるまちとして伊予の「まほろば」だと自負しています。

全国の皆さま方をお迎えし、サイクリングロードを疾走し、今治タオルで汗を拭い、名物の焼き鳥を頬張れる日が来ることを願い、一日も早いコロナの終息と、未来を見据えたまちづくりにより、51歳、若さと行動力を生かして「全集中」で取り組んでいます。

2021年(令和3年)

6月21日[月]

第11056号

目次

- 月曜連載 2
PdC EXECUTIVE REVIEW—公民連携・現場レポート—(62)
「ワーケーション」にどう向き合っていくべきなのか?
- 行政EXPRESS 6
愛知県、金沢市、長崎市、島根県、長野県塩尻市、広島県、北九州市
- 一家言 7
死なない生物
- トピックス 9
総務省
ふるさと納税、返礼品に電気容認
自治法改正見送り「運がなかった」
- 月曜隔週連載 10
「ビレッジプライド」のその後②
「ふるさと納税」をめぐる冒険(3)
- 霞が関かいわい 13
財務省
- 連載 14
文化で地域をデザインする④
環境共生住宅の先駆けとして注目される「聴竹居」
- 農政ウォッチング 18
ドローン活用の鯨類調査に手応え
- 新刊案内 19
山族公務員の流儀
- 点描・永田町 20
東京都議選と「コロナ・五輪政局」

時事通信社